

(別紙様式 1)

審議案件に関する概要

令和 3 年 1 0 月 1 9 日 第四部会提出

届出条項	大規模小売店舗立地法第 5 条第 1 項 (新設)
届 出 日	令和 3 年 4 月 8 日
担当部署	上川総合振興局産業振興部商工労働観光課

1. 届出者

氏名又は名称及び代表者の氏名	住 所
株式会社コメリ 代表取締役 捧 雄一郎	新潟県新潟市南区清水4501番地 1

2. 届出事項

(1) 店舗名及び所在地	コメリハード&グリーン士別店 士別市西 1 条19丁目463-142ほか	
(2) 小売業者名、代表者名及び住所	株式会社コメリ 代表取締役 捧 雄一郎 新潟県新潟市南区清水4501番地 1	
(3) 新 設 日	令和 3 年 1 2 月 9 日	
(4) 店舗面積の合計	4, 7 8 5 m ²	
(5) 施設の配置	駐車場の収容台数	1 0 0 台
	駐輪場の収容台数	1 2 台
	荷さばき施設の面積	7 2 m ²
	廃棄物保管施設の容量	5 0 m ³
(6) 施設の運営 方法	開店時間・閉店時間	午前 6 時 3 0 分 ~ 午後 9 時 0 0 分
	駐車場の利用時間帯	午前 6 時 0 0 分 ~ 午後 9 時 3 0 分
	駐車場の出入口数	出入口 3 箇所
	荷さばき時間帯	午前 6 時 0 0 分 ~ 午後 9 時 0 0 分

3. 審査事項

(1) 駐車場 整備への 配慮	指針必要駐車台数の整備	必要駐車台数 2 4 7 台 > 設置台数 1 0 0 台
	従業員駐車場等の整備	駐車場内に 4 5 台確保
	駐輪場 (自動二輪車を含む) の整備	1 2 台 ・ 同規模他店舗の運営実績を参考に計画しており、駐輪場が不足することはないと考える。 ・ 自動二輪車での来客は少なく、計画駐車場で対応することが可能と考える。
	来客車両等の入出庫方法	・ 入口ゲート、遮断機はなく、入庫待ちは発生しない。
	搬入車両等の誘導	・ 荷捌き施設については、荷さばき処理能力 1 時間あたり 4 台に対し、1 時間あたり 2 台搬入とし、十分な施設面積を確保しており、入庫待ちは発生しない。

				・計画的搬入により、一時的に搬出入車両が集中しないよう配慮する。		
歩行者の安全対策				・店舗社員や取引先業者及び搬出入業者ともに、店舗周辺や駐車場内における低速度走行や歩行者及び来客に対する安全確認の徹底に取り組む。 ・出入口看板、出庫時の停止表示などで、安全と円滑な自動車誘導を図る。 ・繁忙時には交通整理員により駐車場内の歩行者及び自動車の適切な誘導を行い安全の確保を図る。		
交通整理員の配置				・繁忙時には交通整理員を駐車場出入口周辺に配置し、交通安全および違法駐車防止を図るほか、適切な駐車場誘導を行う。		
除排雪による堆積方法				・原則として10cm以上の積雪が生じた場合に除雪を行う。 ・駐車場外周部及び従業員駐車場、冬季堆雪場所に一時堆雪するが、適時排雪を行なって必要駐車台数の確保に努める。		
その他				・オープン時にはチラシにより案内経路を周知するとともに、大規模な販売促進催事を行う際には交通整理員を配置して、交通安全の確保を図る。		
(2) 騒音発生への配慮	昼間の等価騒音の予測結果	予測地点	環境基準値	予測結果	評価	
		1	55dB	45dB	○	
		2	60dB	50dB	○	
		3	60dB	42dB	○	
	夜間の等価騒音の予測結果	予測地点	環境基準値	予測結果	評価	
		1	45dB	21dB	○	
		2	50dB	19dB	○	
		3	50dB	21dB	○	
	夜間の音源毎最大値の予測結果	予測地点	音源の種類	規制基準値	予測結果	評価
		a1	排気⑧	40dB	57dB	△
・敷地境界で規制基準値を超える、a1について直近壁際で再計算した結果規制基準値を下回る。						
再計算点		規制基準値	予測結果	備考		
	a1'	60dB	21dB			
騒音問題の一般的対策				・店舗社員や取引先に対して、自動車の低速度走行などの環境への配慮の指導を行う。		
荷さばき作業等の対策				・搬出入車両等の不要なアイドリングを防止することにより、騒音と排気ガスの削減に取り組む。		
付帯設備・施設等の対策				・室外機は最新の低騒音型を設置する。		
青少年の蟻集等の対策				・営業終了後は駐車場出入口をチェーンバリカーで閉鎖し、暴走車両等が進入して騒音公害を起こさないよう配慮します。		
その他の対応方策				・冬季における駐車場等の除雪作業は基本的に深夜早朝に行いません。 ・万一、騒音問題が発生した際には迅速に適切な対応を図る。		

		・ 駐車場内にアイドリング停止や静かな駐車場利用をお願いする看板を設置して、近隣住宅に配慮するよう案内する。
(3) 廃棄物等への配慮	指針容量の整備	指針容量 21m ³ < 設置容量 50m ³
	保管場所の位置、構造等	・ 廃棄物等保管施設は屋内に設け、飛散防止や美観・衛生面に配慮する。
	運搬・処理対策	・ 廃棄物の分別を徹底し運搬時の引き取り作業の迅速化を図る。
	減量化、リサイクル等	・ 廃棄物の分別処理の徹底に努め、リサイクル率の向上に努める。
	調理臭、悪臭の飛散防止	・ 生ごみや調理臭の発生はない。
	その他の対応方策	・ 店舗運営責任者（店長など）との連携を図り、生活環境問題を発生させる恐れがある場合は、適切な対応策を講じる。
(4) 街並みづくり等への配慮		<ul style="list-style-type: none"> ・ 当地域において街並みづくりが行われる場合、取り組みを阻害することのないよう調和を図るよう努める。 ・ 広告塔や駐車場等の照明はライトの向きや光量を調整して照明が敷地外に漏れないよう配慮する。
(5) 防災対策への配慮		・ 地方公共団体等から災害時における避難場所として、駐車場等敷地の一部の使用あるいは店舗で取り扱っている物資の緊急時における提供を行うための要請があった場合は、必要な協力を行う。
(6) 防犯対策への配慮		<ul style="list-style-type: none"> ・ 店舗内外における従業員の見回りや声かけ等により、青少年の蟻集等を防ぐよう配慮する。 ・ 店舗内の見通しを確保する商品陳列や防犯カメラの設置により万引き等の防止を図る。
(7) 関係行政機関との協議状況		
	公安委員会 (北海道警本部交通規制課、旭川方面士別警察署交通課)	協議済み
	地元市町村（士別市）	協議済み
	道路管理者 (士別市建設水道部土木管理課、旭川開発建設部士別道路事務所総務課)	協議済み
	その他関係機関	—

4. 市町村、住民等の意見

(1) 市町村の意見	意見なし
(2) 住民等の意見	意見なし

5. 道（上川総合振興局連絡調整会議）の意見案

意見なし
